

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和5年(2023)5月26日

6月号

URL : www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/



「なりたい自分」をめざして

副校長 國司 香織

千秀小学校に着任して3年目を迎えました。コロナ禍で何をするにも制限があり、限られた範囲の中で最大限にできることを求め、教職員と子ども達で力を合わせて乗り越えてきた期間を経て、5月8日の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の2類相当から5類への移行に伴い、少しずつ制限のない日常生活が戻ってきました。一番大きな変化はマスク着用が個人の判断に委ねられたことです。2年過ごしてほぼ毎日顔を合わせてきた教職員、子ども達、地域の皆様ともマスクなしで会話することがなかったため、今年になって、改めて表情込みで会話を交わしながら、再度出会っているのと同じだなと感じています。また、直接お目にかかることがかなわなかった皆様とも少しずつ直接お会いして言葉を交わすことができるようになり、子ども達を、そして学校のことを大切に思ってくださっている方が多いことを感じ、副校長として気を引き締めているところです。

3年目、これまで以上に多くの皆様とお目にかかり、お話をしながら、楽しんで通える学校づくりに尽力していきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞお力添えのほどよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ明日の運動会当日に向け、全校を挙げて準備に取り組んできました。スローガンは、「無限の絆で 一致団結 千秀魂」です。このスローガンは子ども達から意見を募集し、担当プロジェクトの子ども達がまとめました。昨年度と同様、紅白の2チームでの開催です。6年生以外は単級のため、クラスごとに紅白に分かれるわけではなく、1クラスを紅白の2チームに分けてチーム編成を行います。紅白どちらが優勝するかは楽しみの一つではありますが、チームでの勝敗よりも個人での目標達成を大切にしています。子ども達それぞれが当日までに挑んでいくことや当日にがんばりたいことをもち、その実現に向けて取り組んでいます。

4年生以上の子ども達は、運動会プロジェクトと称した7つのプロジェクトに分かれて、事前準備、そして当日の役割とそれぞれが自分の役割を理解し、精一杯取り組んでいます。簡単に役割を紹介します。①応援：今年は声出し応援ができることとなりました。大きな応援の音が校庭に響き渡ると思います。②聖火：開会式での華々しい聖火入場の準備と進行、また、競技の得点記録を行います。③マスコット：子ども達のアイデアから選ばれた紅白それぞれのマスコットを立体的に作成し、よりチームの象徴的なものとししました。④運営：開閉会式の司会進行をスムーズに行えるよう練習を重ねています。⑤PR：練習風景を撮影してPR動画を作成し、当日もみんなの雄姿を記録に残します。⑥全校競技/用具：全校での種目の選定、進行誘導を行います。また、競技に必要な用具を準備します。⑦アナウンス：競技開始時の放送や競技中の場面を見ながらの実況を行います。

当日、4・5・6年は、自分の出場する演技・競技以外に役割があり、本当に忙しく活動を行います。そんな姿を1・2・3年は、自分たちの演技・競技を全力で行い、応援席から精一杯の応援をすることで協力していき、盛り上げていきます。また、今後自分もこうなりたいと憧れを抱くことと思います。

今回は、学校の大きな行事の一つである運動会を通して、「なりたい自分」をめざし取り組んでいきますが、日々の中でも一步一步の成長を大切に進んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様ともそんな子ども達の成長を共有しつつ、見守っていただけたらと思っております。